

一人でも頑張れる自分に…

校長 平岡 淳

9月27日に実施した体育祭では、「つなぐ～ACTIVEな坂中生～」をテーマに、生徒が作る体育祭を実現しました。この行事が前期のしめくくりの活動となり、10月10日から令和5年度の後期がスタートしています。後期に入ると、それぞれの役割（係や委員会活動）、学級班のメンバー、席順も変わり、新たな気持ちでの再スタートとなりました。その節目となる集会で以下のような話をしました。



【令和5年度 前期終了節目の会(10月6日)での話】

前期終了の節目の会にあたり、前期生徒会執行部メンバーがそれぞれの思いを伝えてくれました。前期生徒会は「つなぐ」をテーマに、アクティブな坂本中学校を作ろうと執行部や委員会からたくさんの提案をし、そして、全校生徒がまさにアクティブに動いて、一人一人がよりよい学校づくりに貢献してきました。

そういった動きの中、先日水曜日の委員会の時間に中津川市のリニア推進室の担当者が来校され、生徒会執行部と意見交流を行う会議が開かれました。これは、リニア駅周辺の公園整備について、生徒会サミットで執行部が市に提案したことを受けて、中学生の意見をもっとたくさん取り入れていきたいと中津川市が動き出したということです。市も動かすような、まさにアクティブな坂本中学校の姿を実現させたと言えます。

前期は、一人一人の力によって坂本中学校をよりよくしてきました。この成果をもとに、来週から始まる後期をスタートしたいと思います。

後期に大事にしてほしいことは、「一人でも頑張れる自分」作りです。体育祭の開会式で「体育祭の成功のために一人一人がいる」、「一人一人の成長のために体育祭はある」という2つの言葉を考えてみましょうという話をしました。体育祭などの行事は、仲間がいるから頑張れた活動だと思います。でも、これからは、もっと成長するために、「一人でも頑張れる自分」を作っていくことが大事になってきます。特に、3年生は数ヶ月後に進路実現につながる受検を控えています。家庭での学習や受検は一人で行うものです。さまざまな誘惑に負けずに一人で頑張ることが必要です。体力向上も中学生には必要です。体育の長距離走などで自分の力で粘り強く走り切ることができるようになってほしいと思います。その他には、毎日読書をする習慣を身に付けること、寒さに負けず歩いて登下校することなど、日頃の生活の中に「一人で頑張れる自分」作りができることはたくさんあります。

後期は、こんな意識を持ちながら生活して、「一人でも頑張る力強さを持った坂中生」になってほしいと願っています。

保護者や地域の皆様には、それぞれの立場で「一人でも頑張る生徒の姿」を応援していただければと思います。力強い応援、温かい支えがあるから安心して生徒たちは頑張れると思います。今後とも坂本中学校にご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。